

証券コード：6841  
横河電機株式会社

# 2022年3月期 第2四半期 決算説明会

2021年11月2日

# 目次

## 1. 2022年3月期 第2四半期 連結決算の概要 P. 3

執行役員 経理財務本部長 中嶋 倫子

## 2. 決算補足資料 P. 16

四半期別実績／営業外・特別損益／受注残推移

研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表／株価の状況

## 3. 現状認識と今後の見通し

**Accelerate Growth 2023 P.24**

代表取締役社長 奈良 寿

# 2022年3月期 第2四半期 連結決算の概要

対象期間：2021年4月1日～2021年9月30日

執行役員 経理財務本部長

中嶋 倫子

2021年11月2日

## ■第2四半期実績：増収減益

- ・サマリー : 受注は、対前年で増加。  
売上は、受注の増加を背景に増収。  
営業利益は、粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益。  
四半期純利益は、減益。
- ・セグメント別 : 制御 増収減益 (除・為替影響 : 受注 + 10.1%、売上 + 0.7%、営業利益▲15.4%)  
測定器 増収増益  
航機その他 増収減益
- ・地域別 : 受注は小口を中心に堅調。(地域ごとに状況に差異)
- ・業種別 : Downstream、Chemicalが堅調

## ■通期業績予想：修正あり

- ・修正要因 : ①為替レートの見直し (USD105円 ➡ 107.5円)  
②受注は上期の実績と見通しの状況を踏まえ上方修正  
③当期純利益は修正なし

## ■配当予想：年間配当金34円（修正なし）

※第1四半期連結累計期間より、当社グループ内での経営管理区分の見直しを行った結果、従来「計測事業」セグメントに含まれていたライフイノベーション事業を「制御事業」セグメントに区分を変更するとともに、従来「計測事業」としていた報告セグメントの名称を「測定器事業」に変更しています。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しています。

# 決算サマリー（前年同期比）

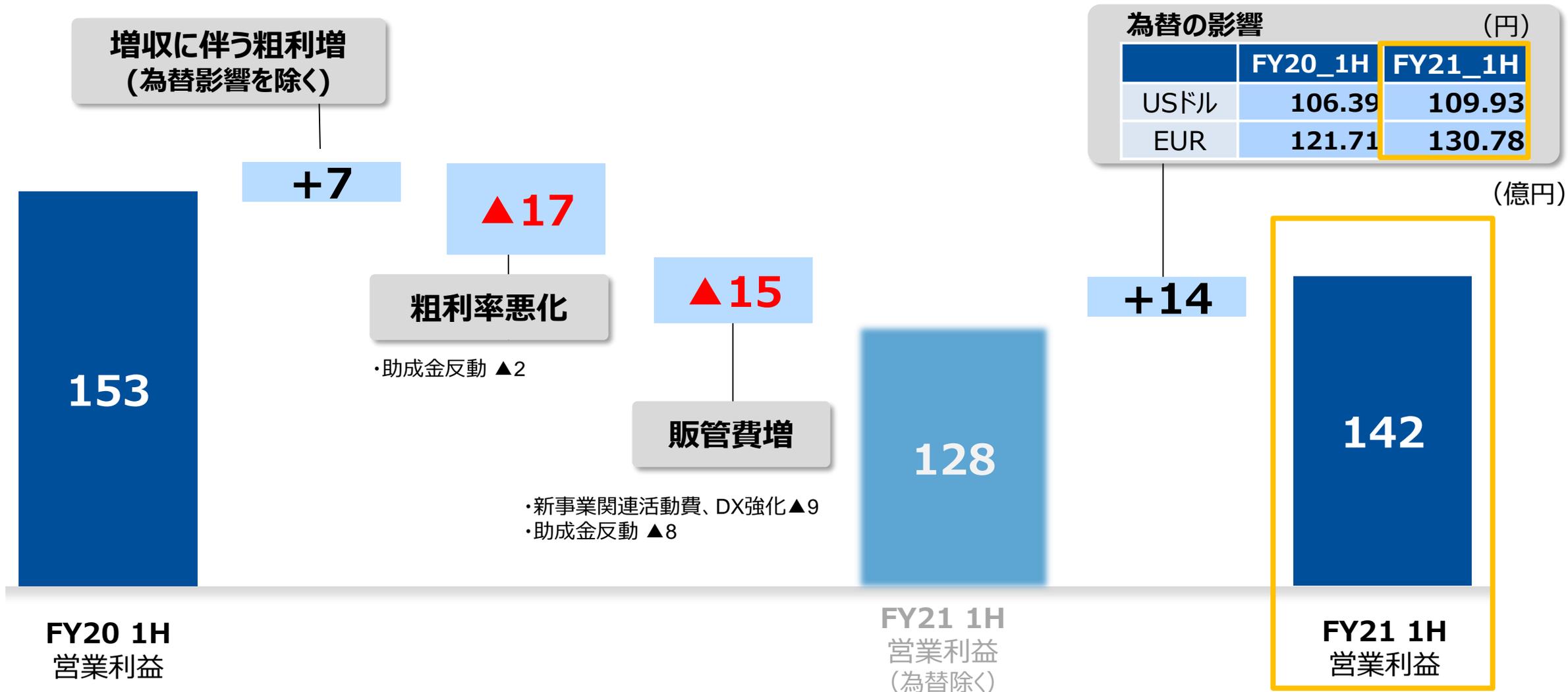
- ◆受注・売上 : 受注は**増加**（除・為替影響**+9.4%**）  
売上は、受注の増加を背景に**増収**（除・為替影響**+0.9%**）
- ◆営業利益 : 粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により**減益**

（億円）

	FY20_1H	FY21_1H	差異	増減率	為替影響
受注高	1,690	1,938	+247	+14.6%	+89
売上高	1,744	1,844	+100	+5.8%	+84
営業利益	153	142	▲12	▲7.7%	+14
ROS(%)	8.8	7.7	▲1.1pt	—	—
経常利益	163	151	▲12	▲7.2%	+15
親会社株主に帰属 する四半期純利益	98	91	▲7	▲6.9%	+12
為替レート 1米ドル=	106.39円	109.93円	+3.54	—	—

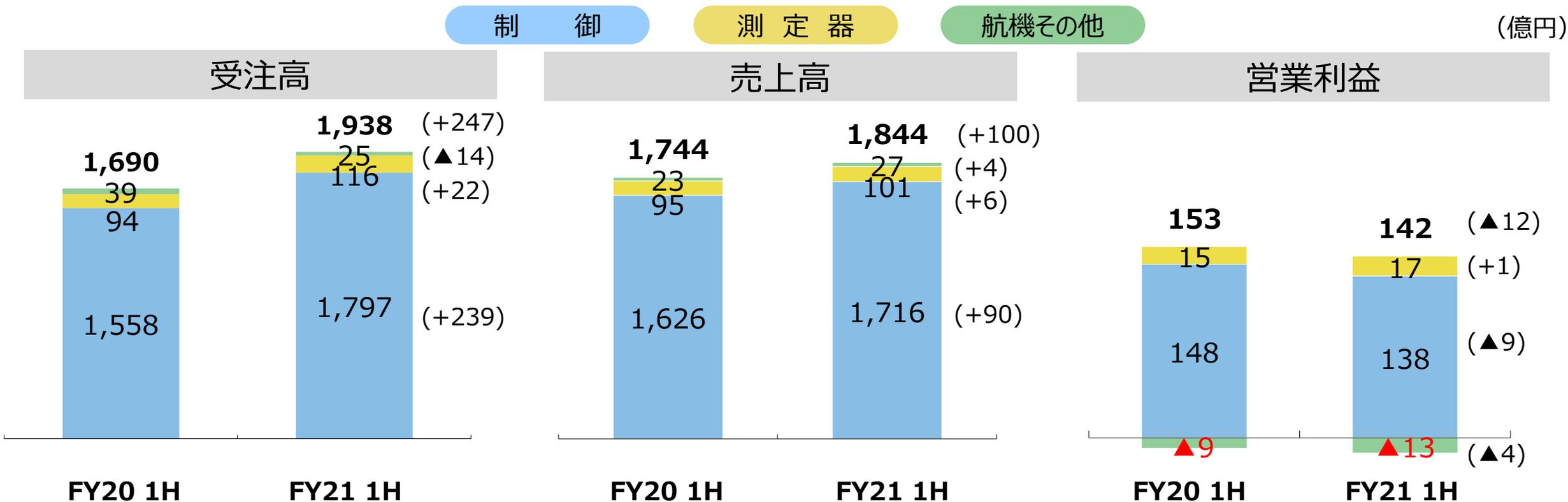
# 営業利益分析（前年同期比）

◆粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益



# セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆制御事業 : 受注は小口を中心に堅調に推移。売上は、受注の増加を背景に増収（除・為替影響：受注+10.1%、売上+0.7%）  
営業利益は粗利率の悪化、助成金の減少による反動、販管費の増加等により減益  
（除・為替影響：▲23億円、▲15.4%）
- ◆測定器事業 : 売上が堅調に推移し、増収増益
- ◆航機その他事業 : 航機事業の粗利率は改善しているものの、新規事業の販管費増加などにより、増収減益



\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| November 2, 2021 |

# 制御地域別 受注・売上高

◆受注は小口を中心に堅調。(地域ごとに状況に差異)

◆受注：+157億円、+10.1% (除・為替影響) 売上：+12億円、+0.7% (除・為替影響)

(億円)

受注高	FY20 1H (A)	FY21 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	527	554	+27
アジア	530	669	+139
(東南アジア・ 極東)	(266)	(291)	(+25)
(中国)	(215)	(309)	(+94)
(インド)	(49)	(69)	(+20)
欧州・CIS	176	220	+44
中東アフリカ	178	174	▲4
北米	92	129	+37
中南米	55	51	▲4
海外小計	1,031	1,243	+212
合計	1,558	1,797	+239
為替レート 1米ドル=	106.39円	109.93円	+3.54円

売上高	FY20 1H (A)	FY21 1H (B)	前年同期比 (B-A)
日本	489	496	+7
アジア	540	615	+75
(東南アジア・ 極東)	(276)	(285)	(+9)
(中国)	(217)	(271)	(+54)
(インド)	(47)	(59)	(+12)
欧州・CIS	206	219	+13
中東アフリカ	194	186	▲8
北米	159	146	▲13
中南米	38	54	+16
海外小計	1,137	1,220	+83
合計	1,626	1,716	+90
為替レート 1米ドル=	106.39円	109.93円	+3.54円

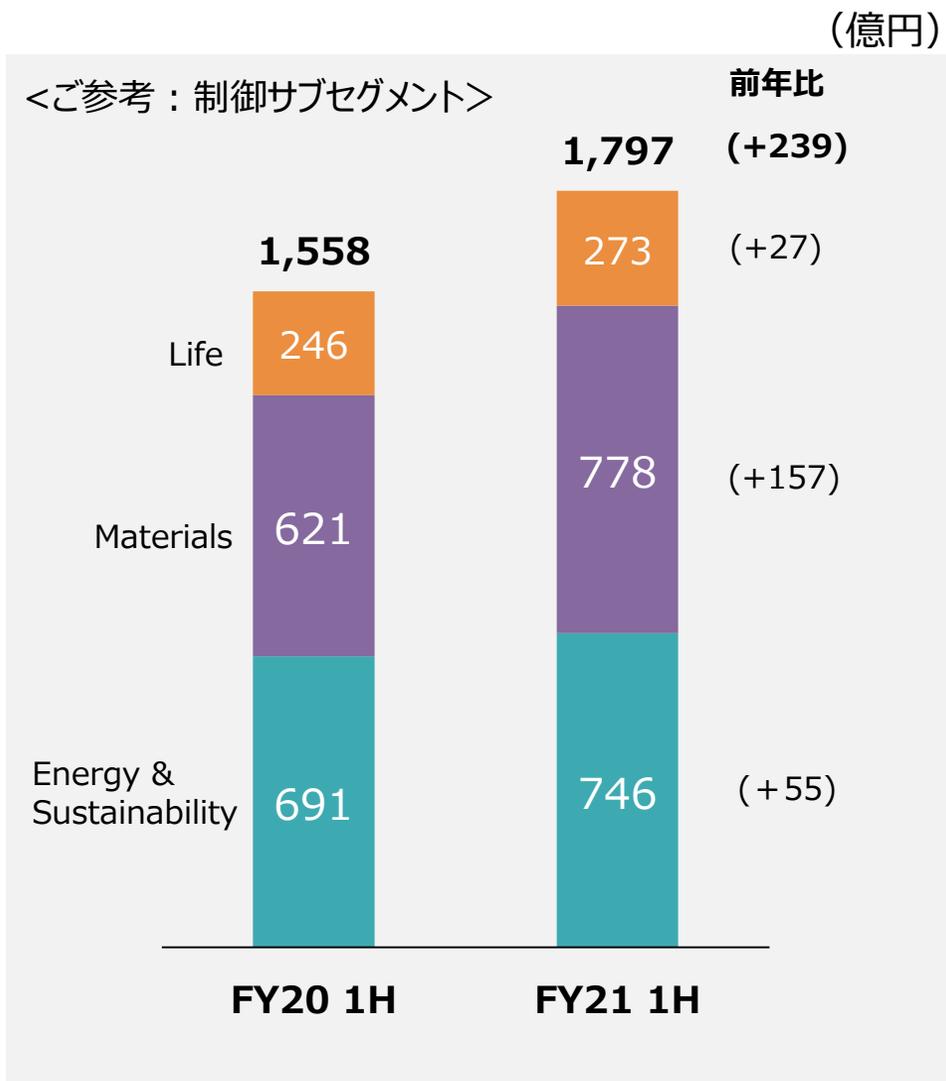
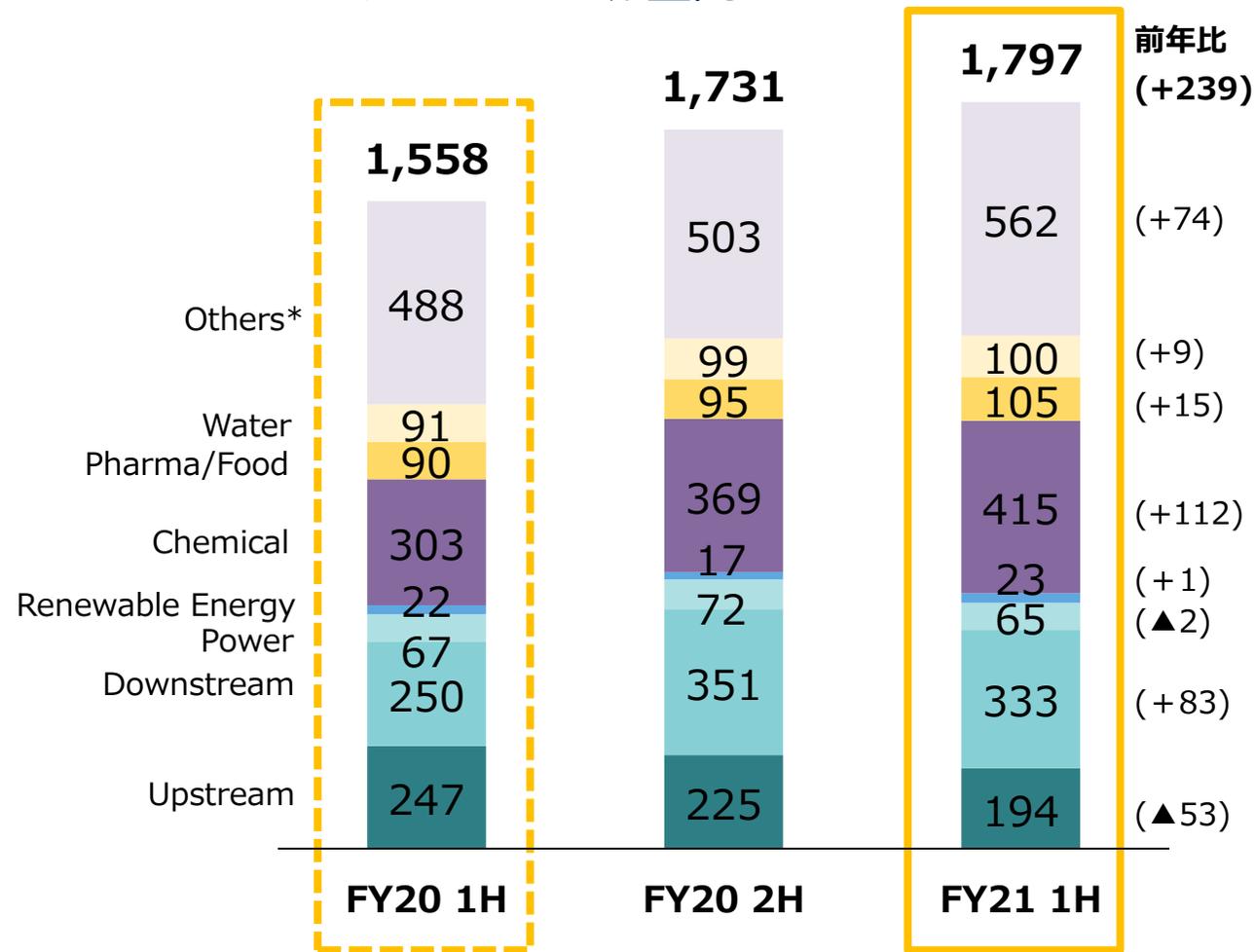
\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| November 2, 2021 |

© Yokogawa Electric Corporation

# 制御業種別 受注高

## ◆ Downstream、Chemicalが堅調

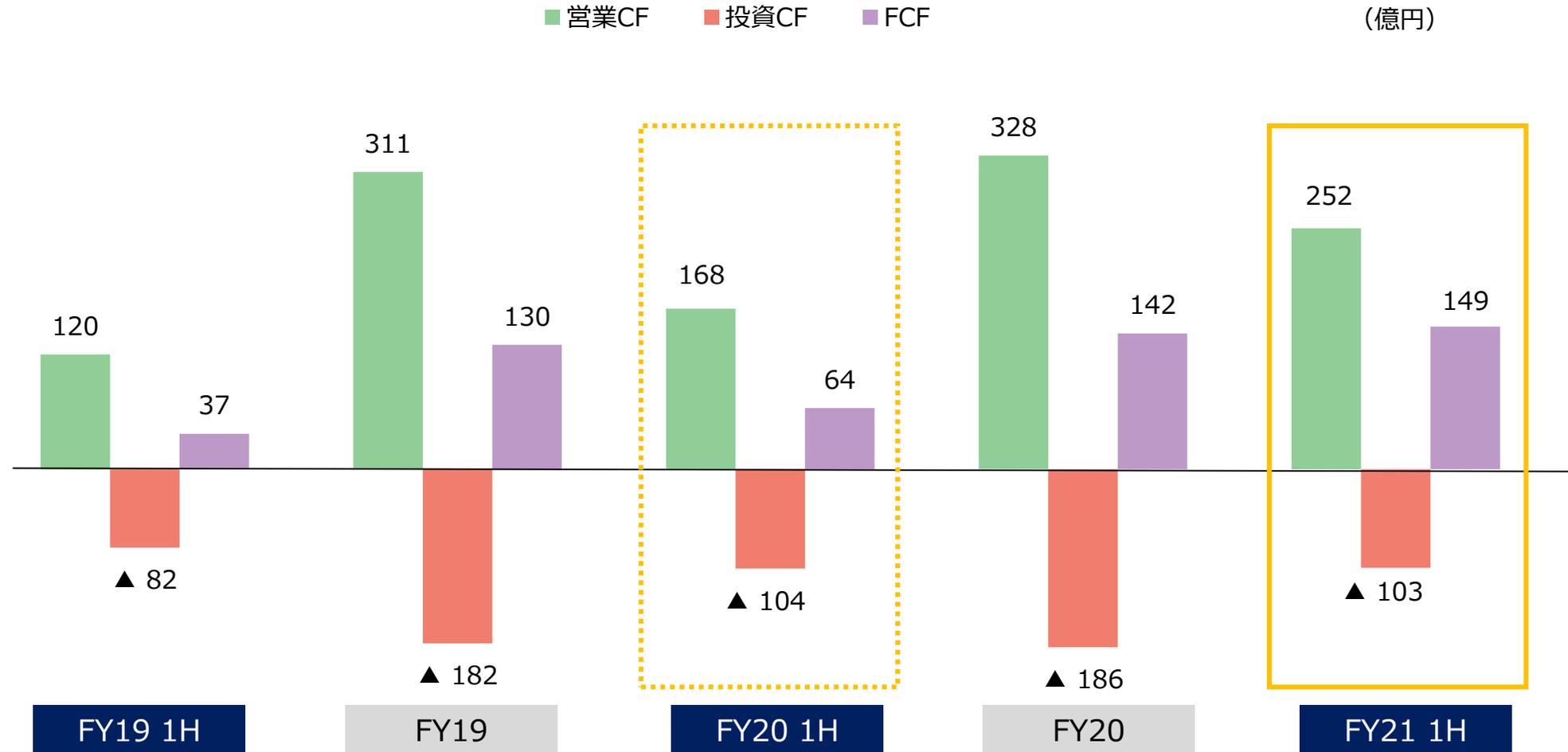


\*Othersの主な業種：ELECTRICAL & ELECTRONIC、IRON & STEEL、PULP & PAPER ほか

\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

| November 2, 2021 |

# キャッシュ・フロー



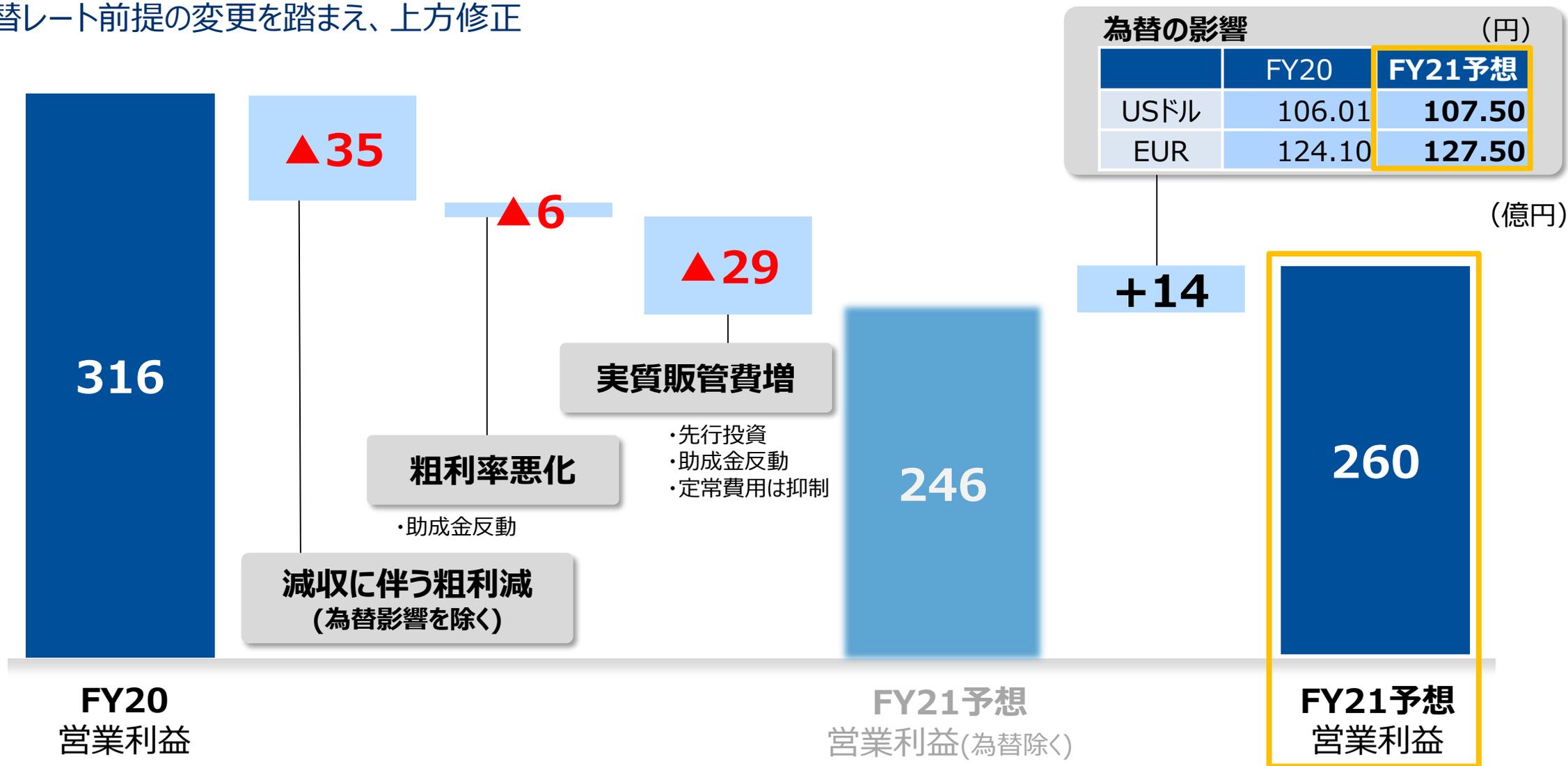
# FY21業績予想（修正あり）

- ◆ 受注は、為替レート前提変更と上期の実績・今後の見通しの状況を踏まえ100億円上方修正（為替影響+50億円）
- ◆ 売上・営業利益・経常利益は、為替レート前提の変更を踏まえ上方修正  
（為替影響：売上+50億円、営業利益+10億円、経常利益+10億円）
- ◆ 当期純利益は修正なし

	FY20 実績(A)	FY21予想 5/11(B)	FY21予想 11/2(C)	前回予想比 (C-B)	前年比 (C-A)	伸長率 (C/A-1)	(億円)
受注高	3,558	3,800	<b>3,900</b>	+100	+342	+9.6%	
売上高	3,742	3,700	<b>3,750</b>	+50	+8	+0.2%	
営業利益	316	250	<b>260</b>	+10	▲56	▲17.7%	
ROS(%)	8.4	6.8	<b>6.9</b>	+0.2pt	▲1.5pt	—	
経常利益	341	250	<b>260</b>	+10	▲81	▲23.8%	
税引前利益	315	250	<b>250</b>	0	▲65	▲20.6%	
法人税等	123	90	<b>90</b>	0	▲33	▲26.8%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	192	160	<b>160</b>	0	▲32	▲16.8%	
EPS(円)	72.00	59.94	<b>59.94</b>	0	▲12.06	▲16.8%	
為替レート	1米ドル=	106.01円	105.00円	<b>107.50円</b>	+2.5円	1.49円	—

# 営業利益分析（修正あり）

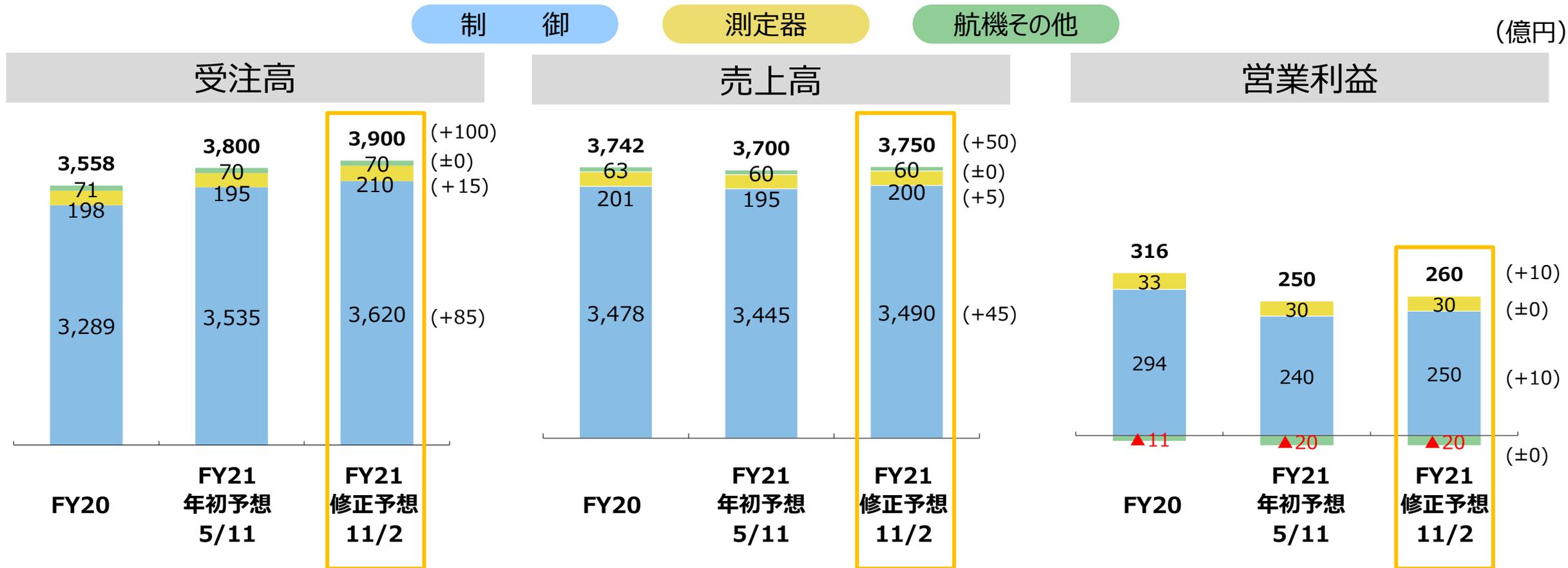
◆ 為替レート前提の変更を踏まえ、上方修正



# セグメント別 受注・売上・営業利益（修正あり）

◆制御事業・測定器事業 : 為替レート前提変更による上方修正。受注は、見通しを踏まえ追加で上方修正。

◆航機その他事業 : 修正なし



FY21よりセグメント区分を変更したことに伴い、FY20の数字も変更しています。

変更額(計測事業→制御事業) : 受注高+59億円、売上高+57億円、営業利益▲21億円

# 制御地域別 受注・売上高（修正あり）

受注高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,129	1,160	+31
アジア	1,049	1,220	+171
(東南アジア・ 極東)	(499)	(550)	(+51)
(中国)	(431)	(530)	(+99)
(インド)	(119)	(140)	(+21)
欧州・CIS	400	450	+50
中東アフリカ	379	410	+31
北米	222	270	+48
中南米	110	110	0
海外小計	2,160	2,460	+300
合計	3,289	3,620	+331
為替レート 1米ドル=	106.01円	107.50円	1.49円

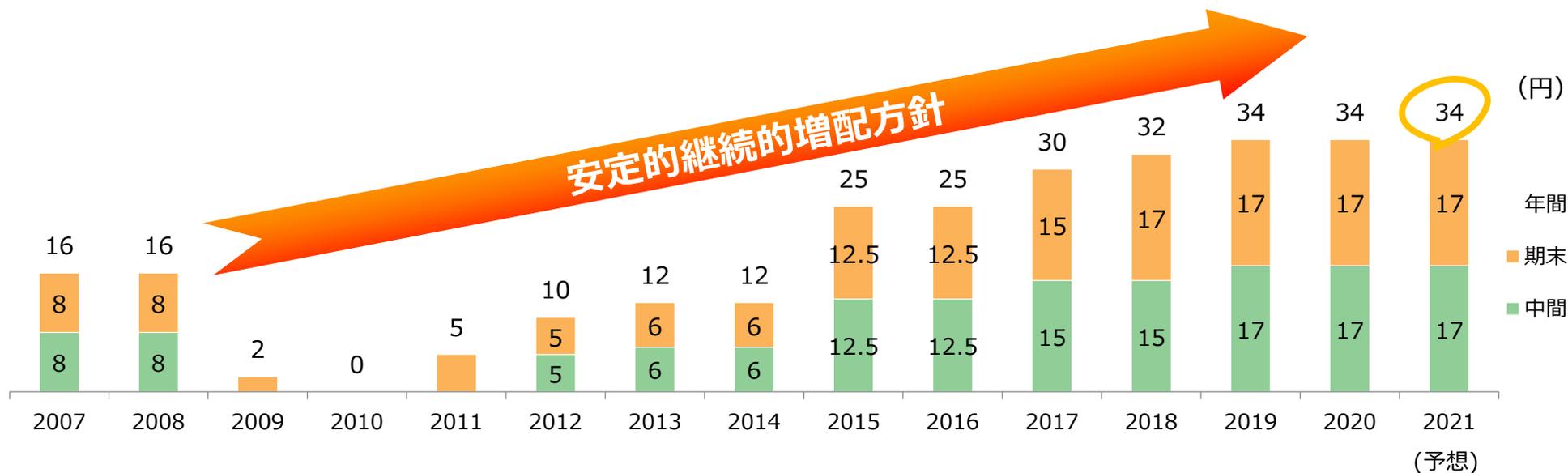
(億円)

売上高	FY20 (A)	FY21 (B)	前年同期比 (B-A)
日本	1,093	1,090	▲3
アジア	1,136	1,155	+19
(東南アジア・ 極東)	(564)	(560)	(▲4)
(中国)	(449)	(465)	(+16)
(インド)	(123)	(130)	(+7)
欧州・CIS	419	435	+16
中東アフリカ	420	420	0
北米	315	290	▲25
中南米	95	100	+5
海外小計	2,385	2,400	+15
合計	3,478	3,490	+12
為替レート 1米ドル=	106.01円	107.50円	1.49円

\*FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

## <変更なし> 中間配当金17円を決議 FY21配当は前年と同額を維持

**FY20 : 34円 (配当性向47.2%)**  
**FY21 : 34円 (配当性向56.7%)**

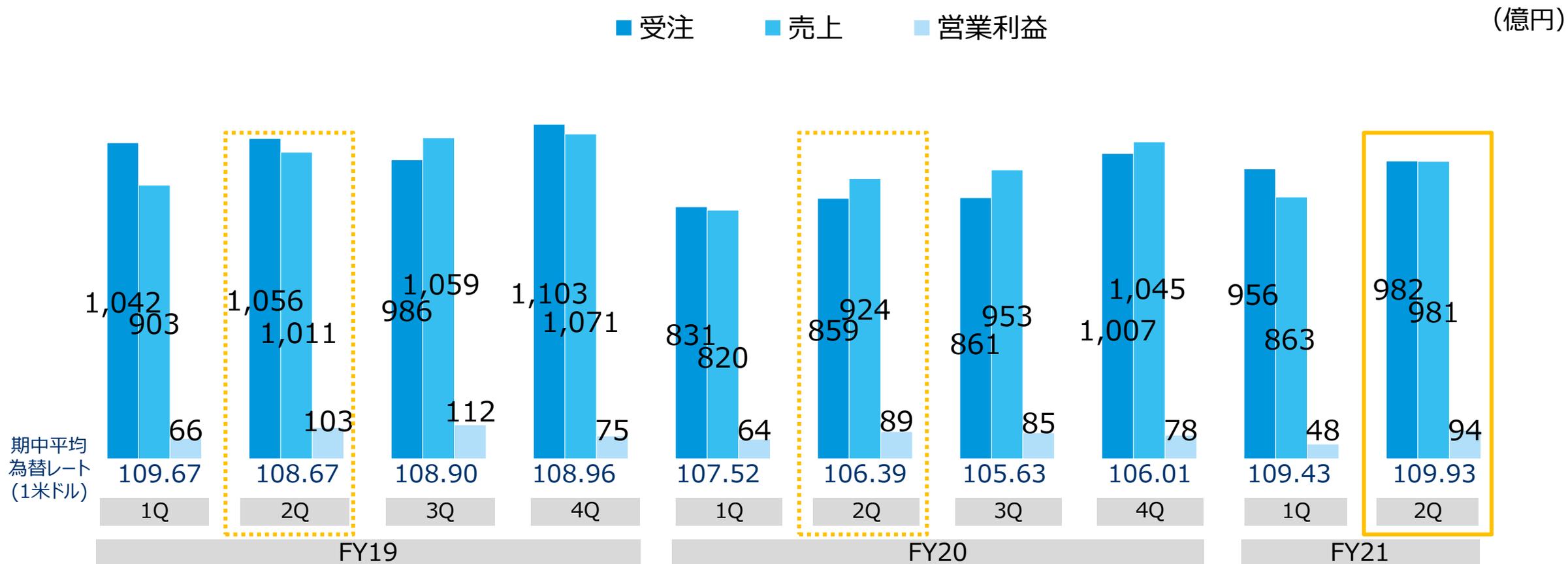


## 決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表
- ・株価の状況

# 補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向



# 補足：営業外・特別損益

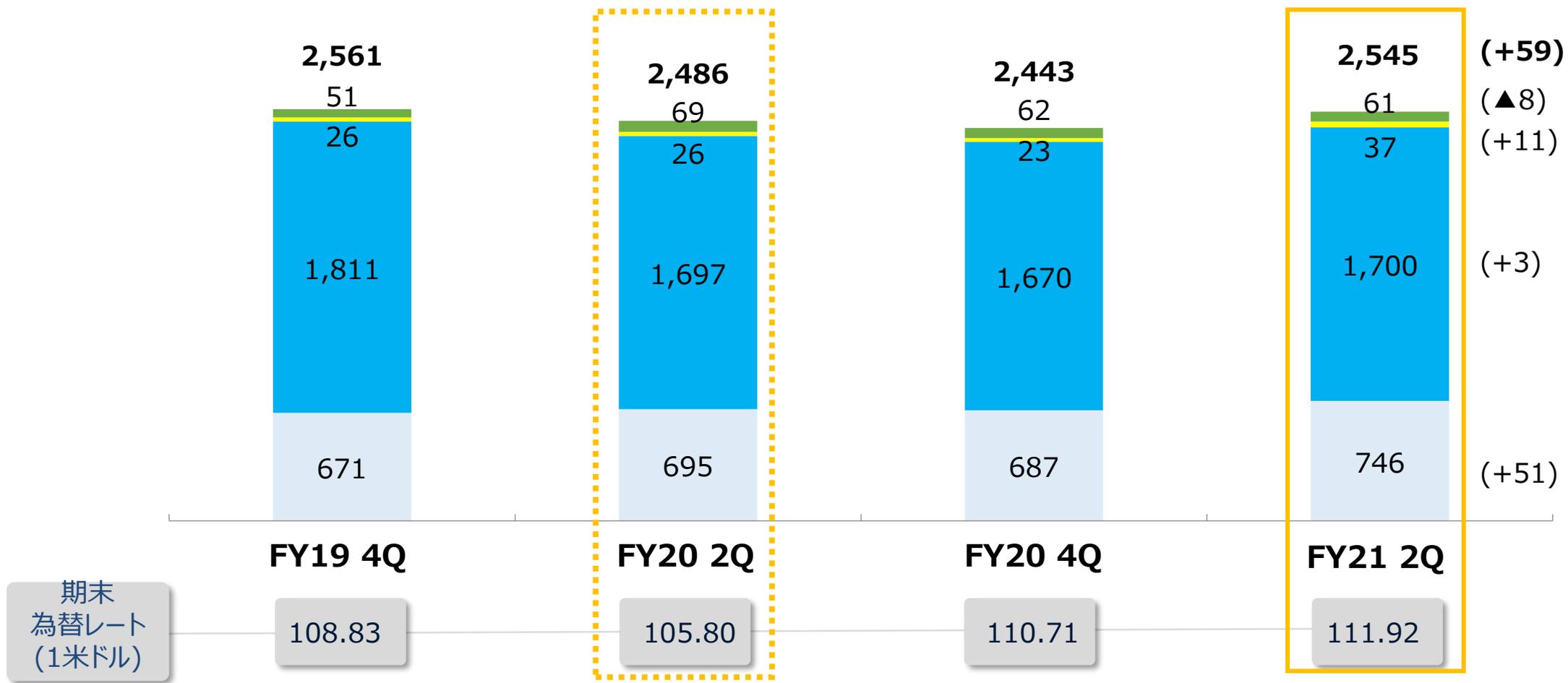
(億円)

	FY20_1H	FY21_1H
営業利益	153	142
営業外収益	19	21
営業外費用	10	11
経常利益	163	151
特別利益	0	0
特別損失	14	3
税引前利益	149	148
法人税等	52	57
親会社株主に帰属する 四半期純利益	98	91
(税負担率)	28.1%	31.1%

FY20：事業構造改善費用 10億円

# 補足：セグメント別 受注残推移

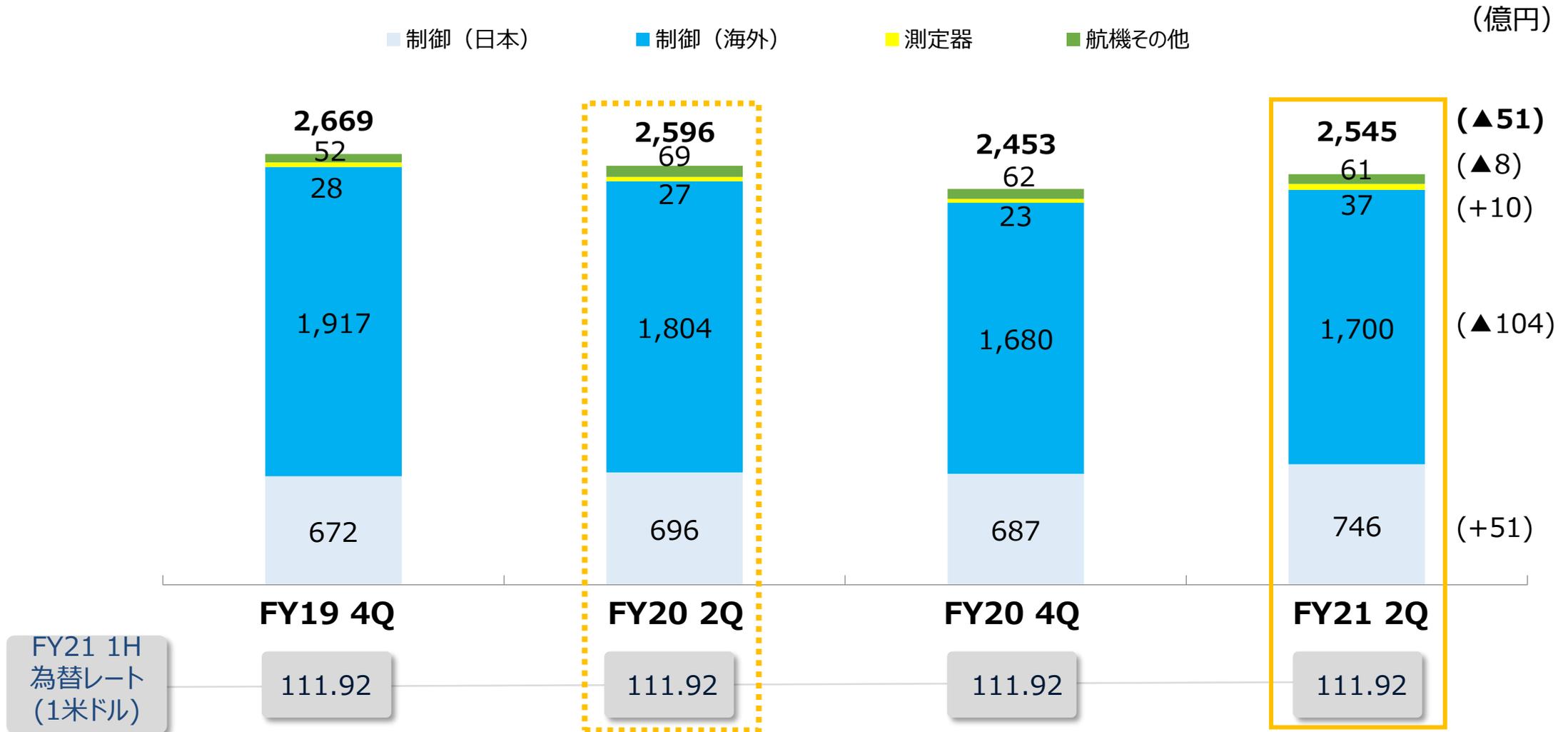
■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 測定器 ■ 航機その他 (億円)



\*FY19, FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

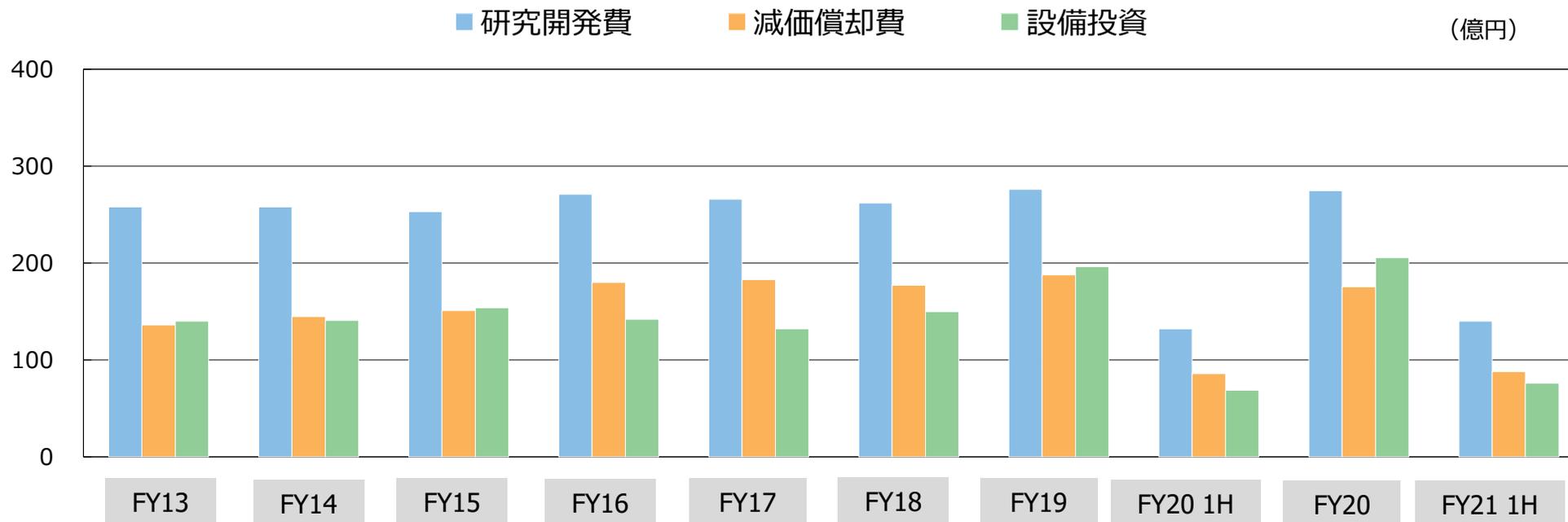
# 補足：セグメント別 受注残推移

\* FY21 1H期末為替レート換算



\*FY19,FY20の数字も新セグメントの数字に変更しています

# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



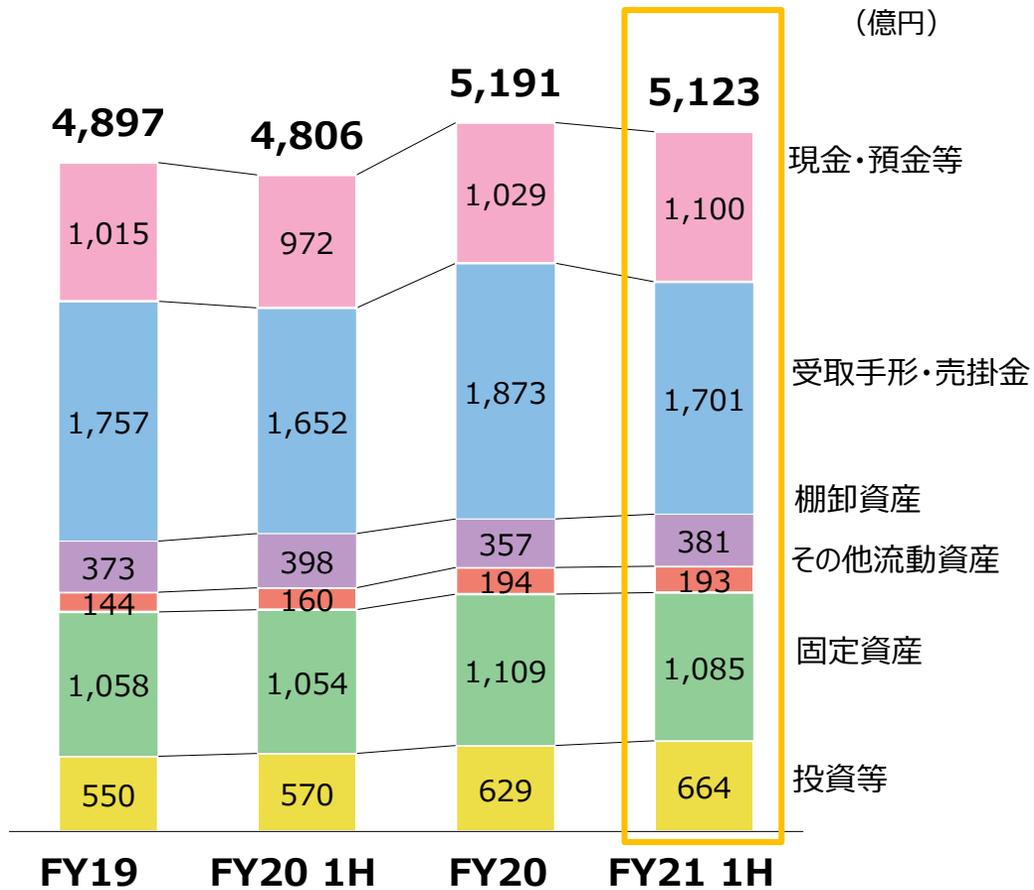
	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20 1H	FY20	FY21 1H
研究開発費 (対売上高比率)	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	266 6.5%	262 6.5%	276 6.8%	132 7.6%	275 7.3%	140 7.6%
減価償却費 (対売上高比率)	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	183 4.5%	177 4.4%	188 4.6%	86 4.9%	176 4.7%	88 4.8%
設備投資 (対売上高比率)	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	132 3.2%	150* 3.7%	196 4.9%	69 4.0%	206 5.5%	76 4.1%

\*FY19よりIFRS第16号（リース）を適用

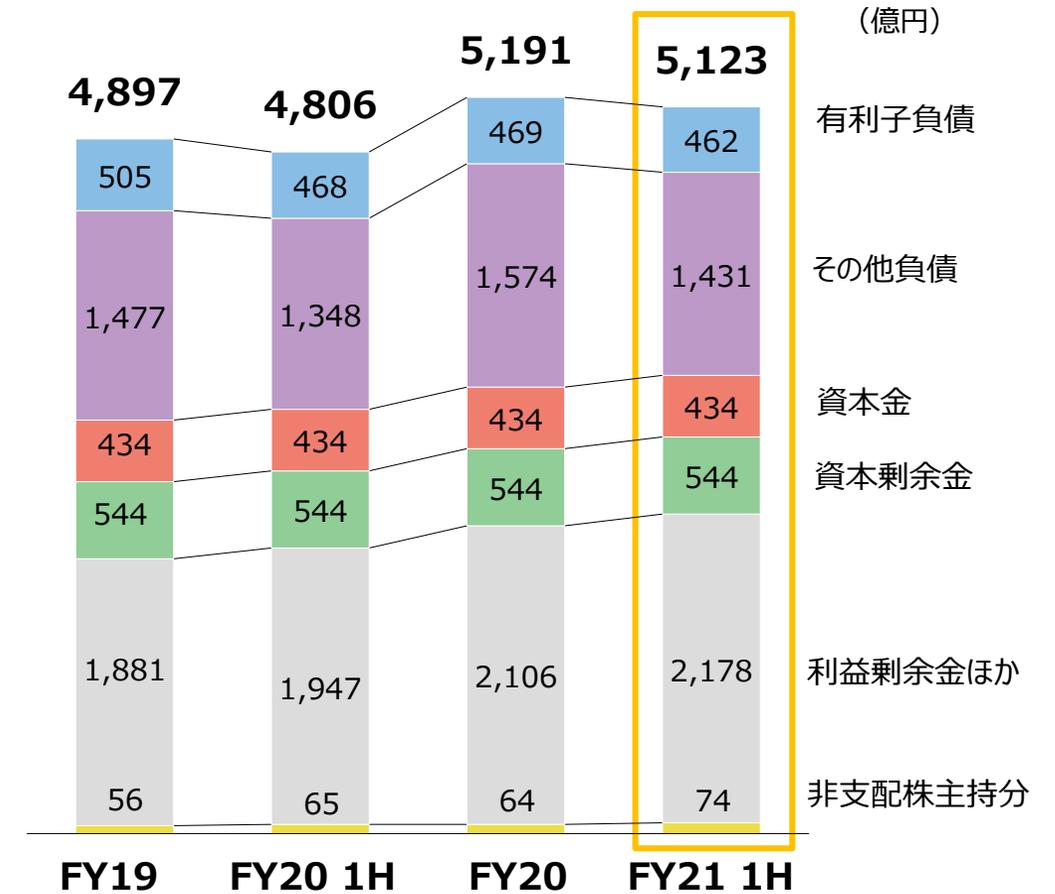
| November 2, 2021 |

# 補足：貸借対照表

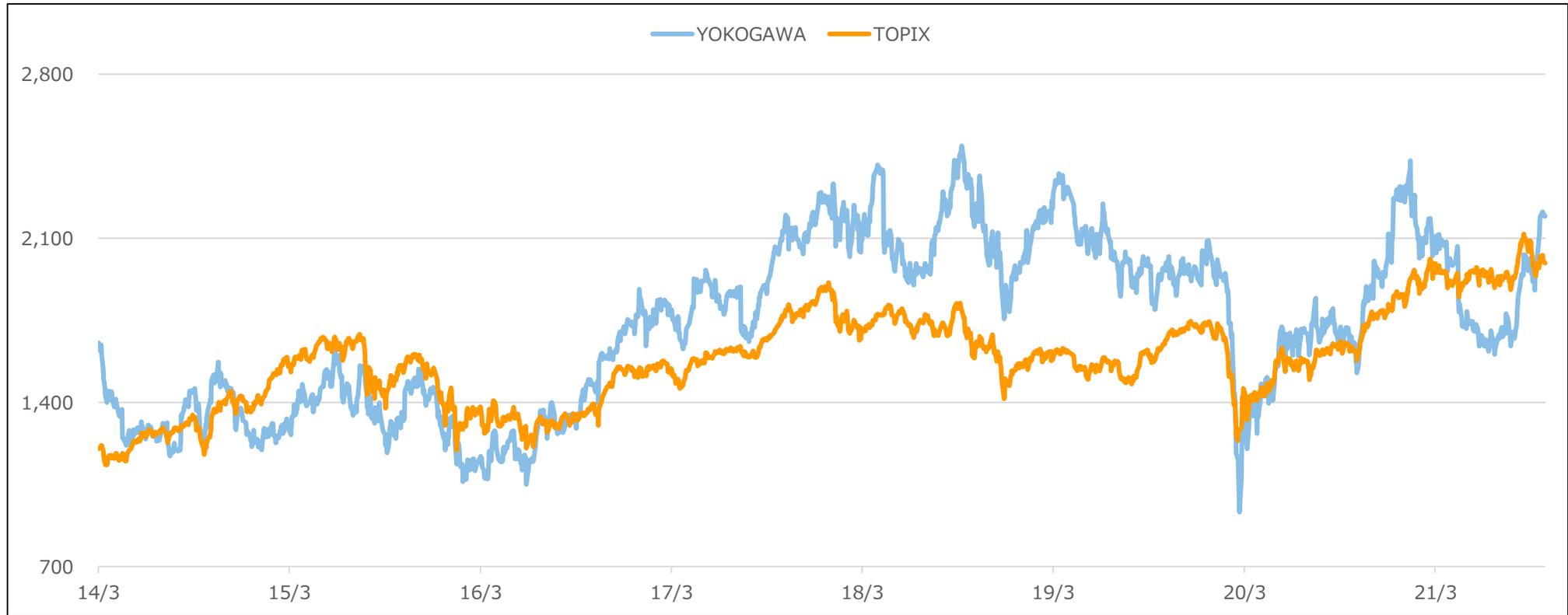
## 資産



## 負債・資本



# 補足：株価の状況



(¥)

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	21/6	21/9	21/10/25
Yokogawa	1,667	1,295	1,163	1,752	2,198	2,291	1,303	2,038	1,660	1,959	2,195
TOPIX	1,203	1,543	1,347	1,512	1,716	1,592	1,403	1,954	1,944	2,030	1,995

2022年3月期 第2四半期決算  
現状認識と今後の見通し  
*Accelerate Growth 2023*

代表取締役社長

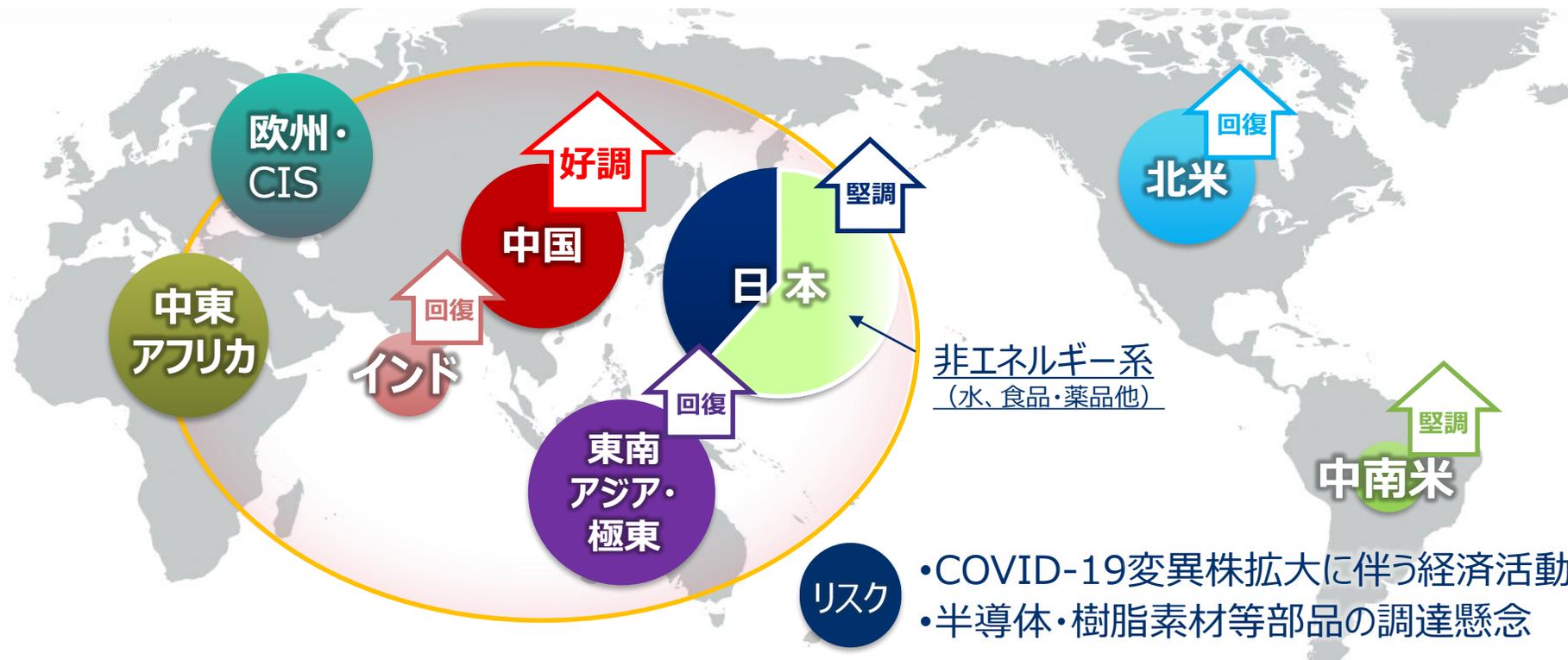
奈良 寿

2021年11月2日

## 幅広い地域・業種で回復期待。中国が引き続き受注を牽引。

**地域** 中国：引続き好調維持 北米・東南アジア・インド：COVID-19打撃から回復 日本・中南米：引き続き堅調

**業種** Downstream, Chemical：需要増に伴い、力強い回復傾向  
Other Materials：半導体市場向け含む素材産業が高水準維持。マイニングも好調。



### 海外売上比率

FY20 1H	69.4%
FY21 1H	70.5%

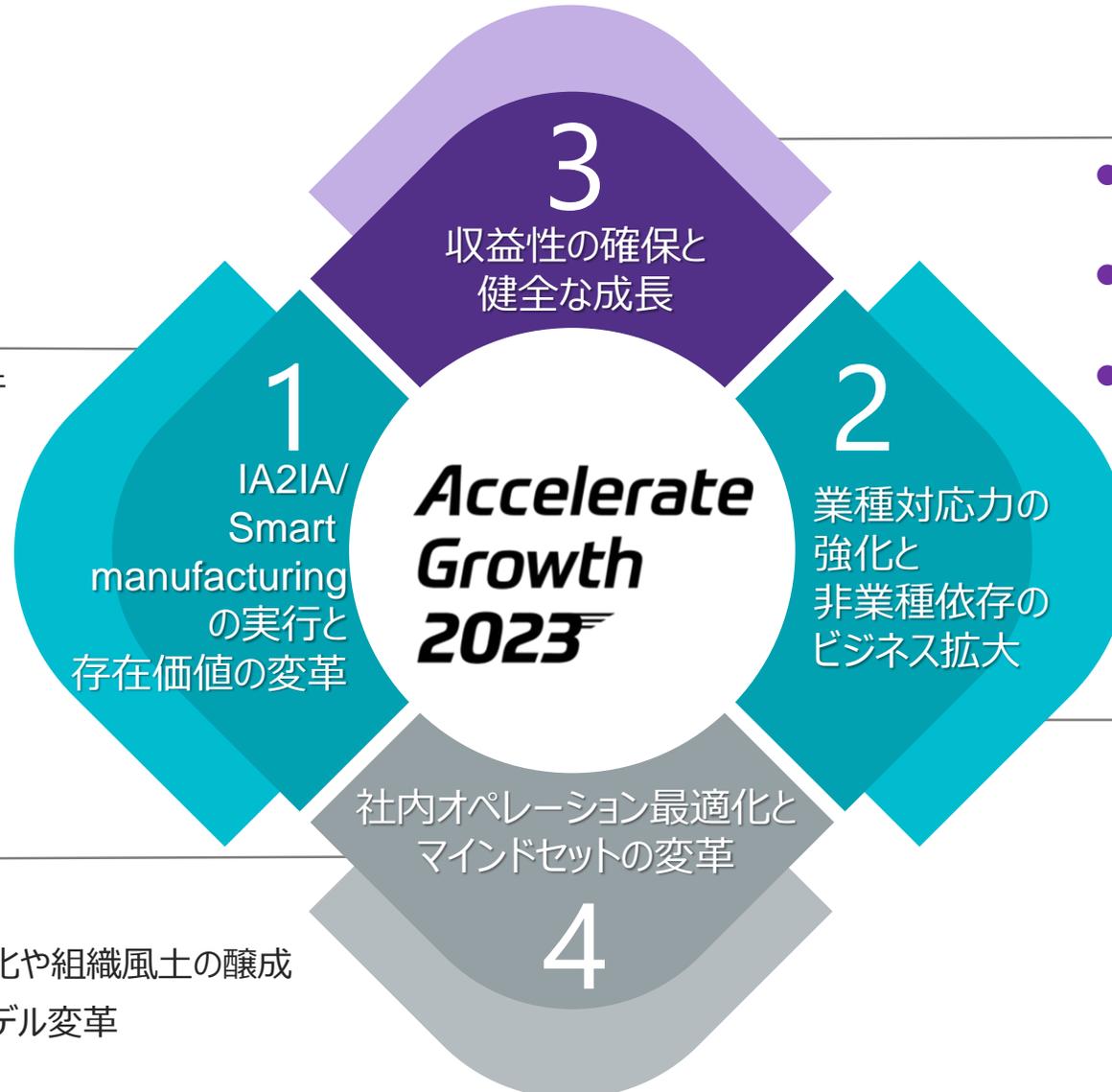
# Accelerate Growth 2023 4つの基本戦略

## 提供価値の拡張

- IA2IAの構想の実行フェーズへの移行
- Smart manufacturingによるソリューションの提供範囲の拡大

## 社内基盤の強化

- 戦略立案機能の強化
- 挑戦を奨励する企業文化や組織風土の醸成
- Internal DXとビジネスモデル変革



## 価値提供における収益性と成長

- 大規模プロジェクトのナレッジ集約と効率化
- 高い価値を生む製品群へのリソース集中
- ソフトウェアやエンジニアリングの領域での利益確保

## 提供価値の拡張

- 総合エネルギー企業にシフトするお客様への新たな価値の提供
- 他業種、非業種依存のビジネスの拡大

## 3 事業セグメント体制始動

### CoE※× 地域提案力強化 = グローバルでの業種拡大

- ✓ お客様の共通課題に対するソリューションやベストプラクティスをグローバルで共有するCoEを設立
- ✓ 各地域拠点で幅広い業種のお客様に向けたアプローチを加速



※CoE: Center of Excellence 特定の専門分野の高いスキルを持つ人材の集団組織であり、グローバル・組織横断的の機能組織。

## グローバルでSDGsに貢献する幅広い分野で受注が拡大

### Water

- ◆ Prayagraj Smart City: 飲用水供給システム・プロダクト・メンテナンスサービス/ インド
- ◆ 地域最大級CAMANA 再生水プロジェクト: プロダクト/ フィリピン

### Food

- ◆ 食品用油脂貯蔵タンク監視 : システム・プロダクト (109工場、469基) / タイ

### Pharma

- ◆ メディカルデバイス生産: 環境モニタリングシステム・プロダクト・バリデーション/ ベトナム

### Battery

- ◆ 電池プロセス : フィルム厚さ計測 / 韓国・中国大手メーカー様向けなど多数

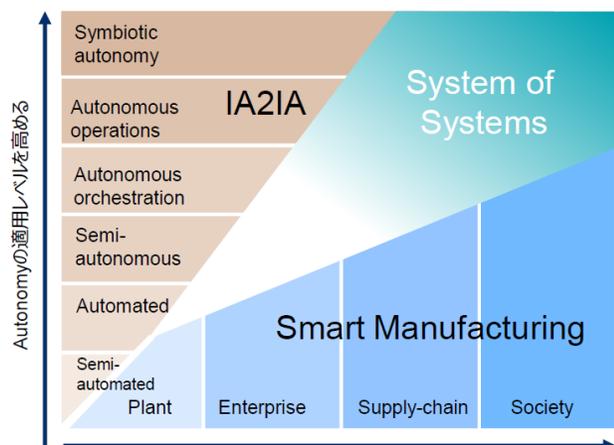
プロダクトも業種軸の積極展開で新規受注を獲得

## IA2IA※/スマートマニュファクチャリングにより バリューチェーン全体でお客様の変革をリード

FY21-1Hの受注は約260件 / お客様とのPoC※も着実に進行

### トピックス

新開発の上位系生産最適化ソリューションRIOS:お客様PoCにて飛躍的収益向上を実証!



つながり・全体最適の対象を広げる

### RIOS

Rigorous Integrated Optimization System



- YOKOGAWA+KBCの総合ソリューションによりDigital Twinを実現。調達から出荷までIN→OUTのプロセスをシミュレーション
- 需要と原油市場価格の変化に対応し、石油精製のサプライチェーンを含む生産プロセス全体を最適化することで**収益を最大化**

※IA2IA: Industrial Automation to Industrial Autonomy (自動化から自律化へ) / PoC: Proof of Concept(概念実証)

## エネルギーtransitionに向けた取り組みを加速

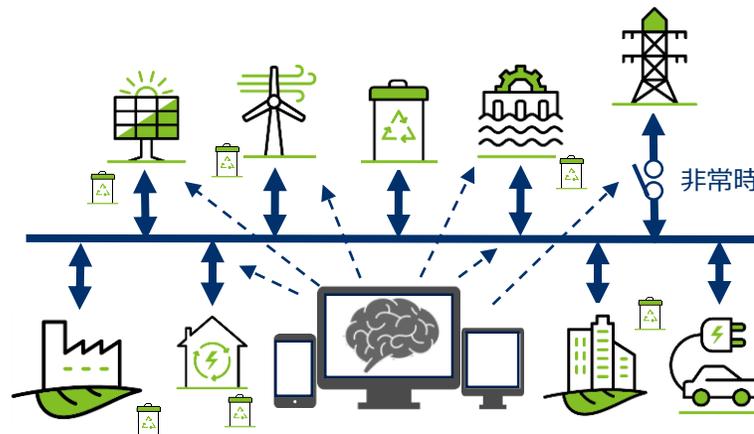
### 社会全体で持続的価値を創出

- ✓ 地熱、水力、廃棄物 / バイオマス発電等の取り組み強化



インドネシアラハンドン地熱発電所  
統合制御システムとサービスを受注

- ✓ 再生可能エネルギーを含む需給、送配電網での取り組み強化



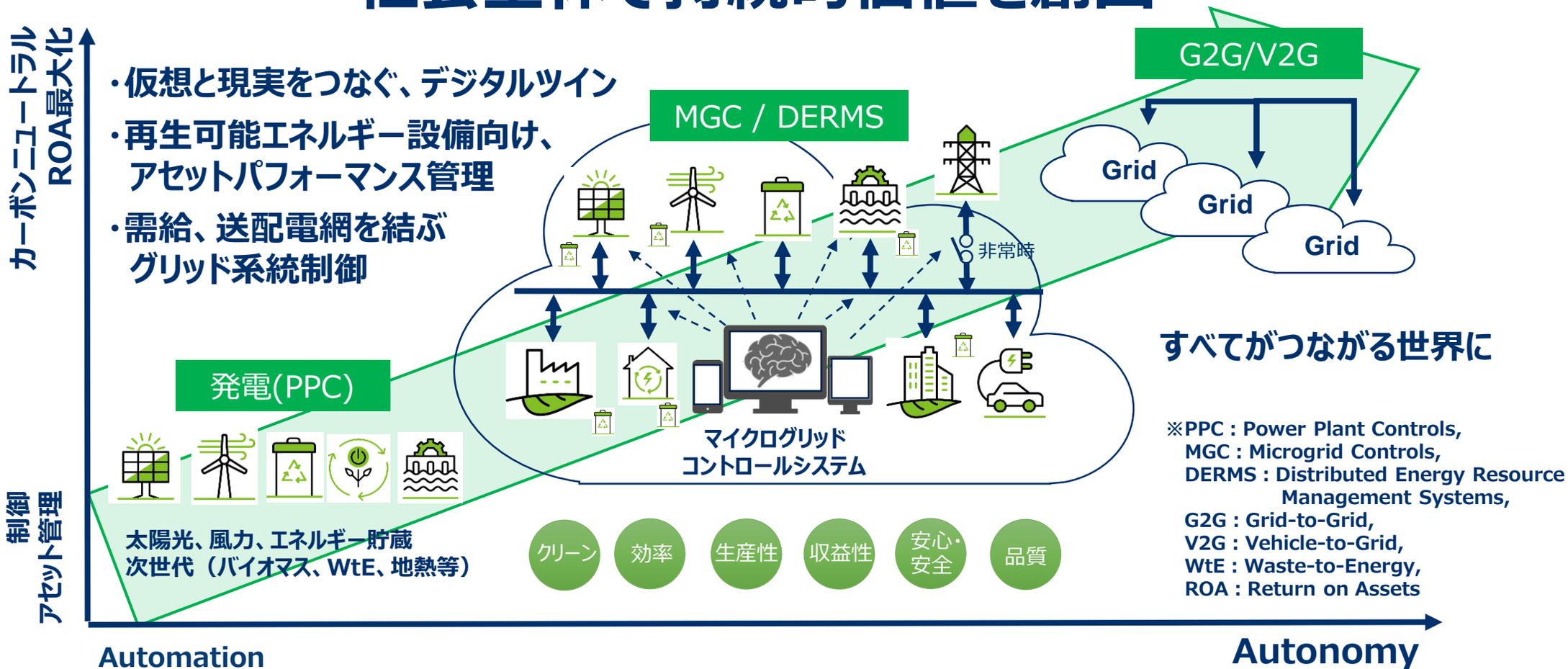
再生可能エネルギーを含む需給、送配電網で  
マイクログリッド実現に向け加速

- ✓ 水素サプライチェーン関連の取り組み強化



水素社会の到来に向け、  
提供価値の特定を開始

## エネルギートランジションに向けた取り組みをさらに加速 社会全体で持続的価値を創出



大きく変化する外部環境の中、**スピード感**をもって **Accelerate Growth 2023**を実行し、**目標達成**に向け加速していく

- ✓ YOKOGAWAの強みを生かし、**さらなる成長発展**に向け変革
- ✓ 提供価値の拡張と生産性向上により、**高い収益性**を実現する
- ✓ 長期的目線で、**非エネルギー業種拡大**、持続可能な社会の実現に貢献

## *Accelerate Growth 2023*

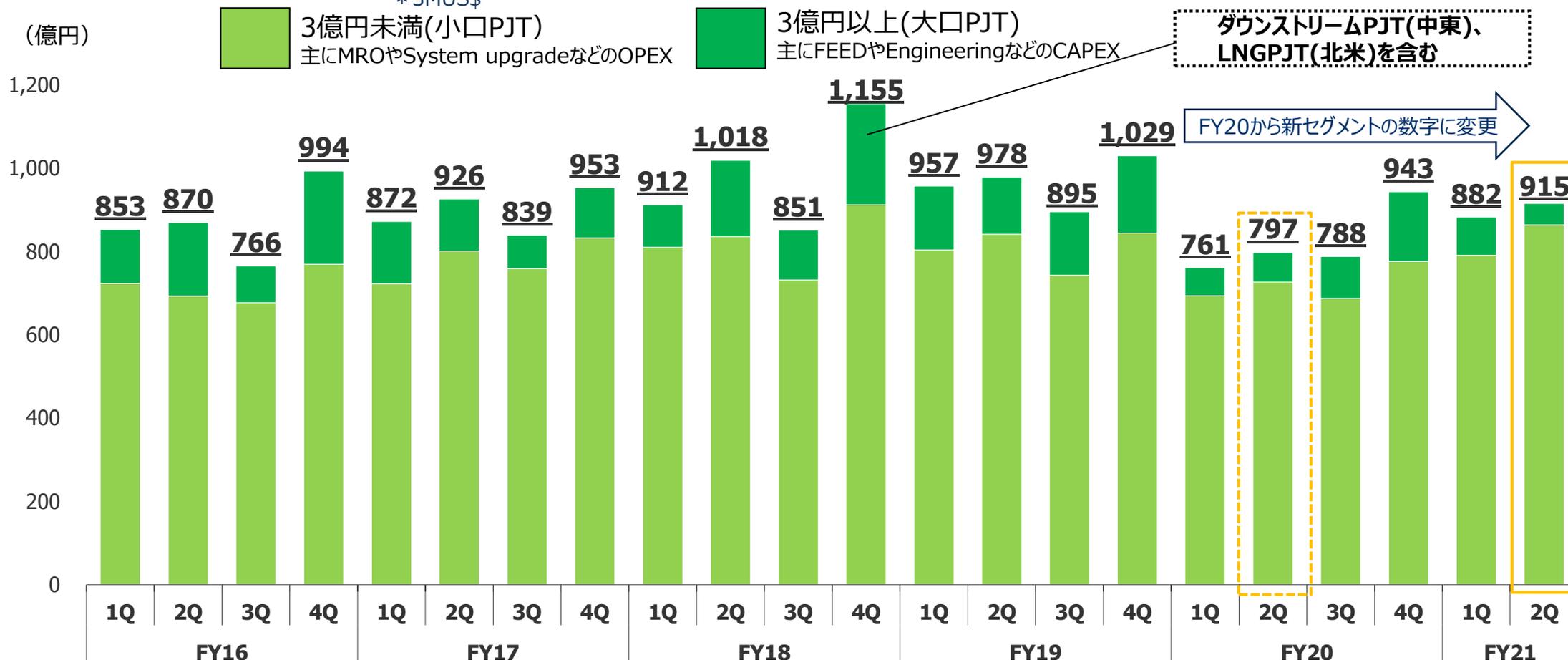
## 参考資料

- ・制御ビジネス金額別受注推移
- ・トピックス
- ・採用されているESG関連インデックスなど

# ご参考：制御ビジネス金額別受注推移

約3億円\*以上の大口PJT比率は10~15%程度のみ

\*3MUS\$



USD	FY16				FY17				FY18				FY19				FY20				FY21	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q																
	108.53	102.91	107.64	108.95	111.42	111.29	111.77	110.70	109.53	110.72	111.34	111.07	109.67	108.67	108.90	108.96	107.52	106.39	105.63	106.01	109.43	109.93

# ご参考：トピックス (8/11～11/2)

8月

Fluence Analytics社に出資、業務提携契約を締結  
～世界で唯一の重合反応プロセス向け自動連続測定システムを化学メーカーに普及～

YOKOGAWAレポート2021を発行 [Link](#)

【横河計測】光スペクトラムアナライザ「AQ6380」発売  
～分散分光方式で業界最高性能、波長分解能5pmを実現～

世界最小クラスの「OpreX Multi-Sensing Remote I/O」アナログセンシングユニットVZ20Xを発売  
～高性能で生産設備保全や電気自動車の電池などの部品開発に最適～

「未来共創イニシアチブ」が日本の人事部「HRアワード2021」の企業人事部門に入賞



光スペクトラムアナライザ「AQ6380」



「OpreX Multi-Sensing Remote I/O」  
アナログセンシングユニットVZ20X

9月

高機能イヤホン型デバイスによる脳波計測の技術をもつCyberneX社に出資  
～ 産業や社会の課題解決を目指し、ブレインテックの共同研究開発を加速 ～

航空機用計器事業を沖電気工業株式会社に譲渡する旨の契約を同社と締結

【横河ソリューションサービス/NTTコミュニケーションズ】AIにより手動オペレーションが不可欠な運転を支援する  
「AIプラント運転支援ソリューション」を化学プラントに導入し実証実験に成功

デジタルトランスフォーメーションのグローバルでの推進強化に向けてWeb Synergies社に出資

横河電機とNTT Com、製造業界のDXを支援する「共同利用型OTクラウドサービス」の共同開発および提供に関する業務提携を締結

セネガル国営水道公社から配水管理システムを受注

10月

# ご参考：YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2021年10月現在

DJSI-World Index  
DJSI-Asia Pacific Index  
FTSE4Good Index Series  
FTSE Blossom Japan Index  
MSCI ESG Ratings AA  
MSCI ESG Leaders Indexes  
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 日本株 女性活躍指数  
CDP 気候変動対策Aリスト  
CDP 水セキュリティ対策Aリスト  
CDP サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード  
SNAMサステナビリティ・インデックス  
S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

Member of  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom  
Japan



**2021** MSCI ESG Leaders  
Indexes Constituent

**2021** CONSTITUENT MSCI ジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

**2021** CONSTITUENT MSCI 日本株  
女性活躍指数 (WIN)



横河電機株式会社のMSCI Indexesへの組み入れ、および本レポートでのMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社による横河電機株式会社の後援、推薦またはプロモーションではありません。MSCI IndexesはMSCIの独占的財産あり、その名称およびロゴはMSCIおよびその関係会社の商標またはサービスマークです。

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の用件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度遡及修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

## 横河電機株式会社

IR部

Email : [Yokogawa\\_Electric\\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com](mailto:Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com)

TEL : 0422-52-6845

URL : <https://www.yokogawa.co.jp/about/ir/>

# Co-innovating tomorrow™

